

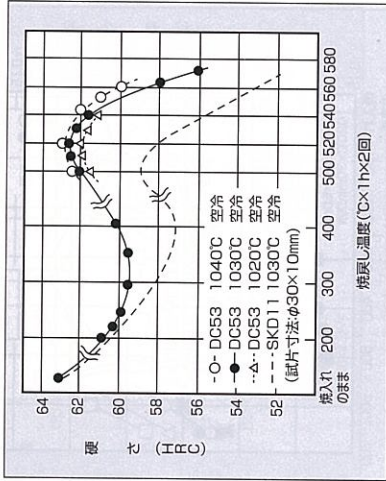
SKD11より優れた靱性、強度をもつ汎用冷間ダイス鋼

特長

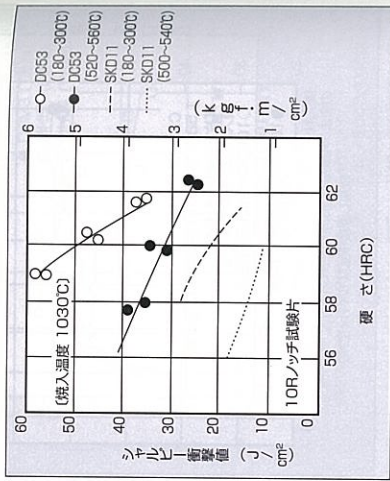
- 高温焼戻し(520~550℃)で、61±1HRCの硬度が得られ強度、耐磨耗性の点で優れた性能を発揮します。
- SKD11の約2倍の靱性を示し、割れ、欠けのトラブル防止と寿命向上が期待されます。
- 炭化物の微細化により被切削性、被研削性とも優れていますので加工の点で有利です。

品質特性

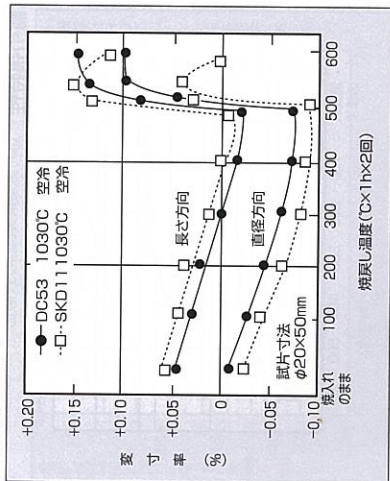
■ 焼戻し曲線



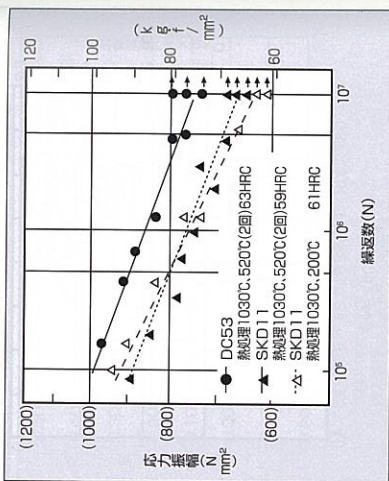
■ 硬さと衝撃値



■ 熱処理変寸率



■ 回転曲げ・疲労強さ



比重 (g/cm³) 7.87

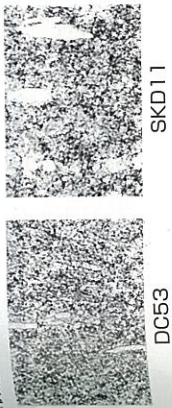
熱伝導率 W/m·K 26.0

焼なまし硬さ ≤255HB

熱膨張係数 20~500℃ x10⁻⁶/K 13.2

ヤング率 x10⁹N/mm² 2.13

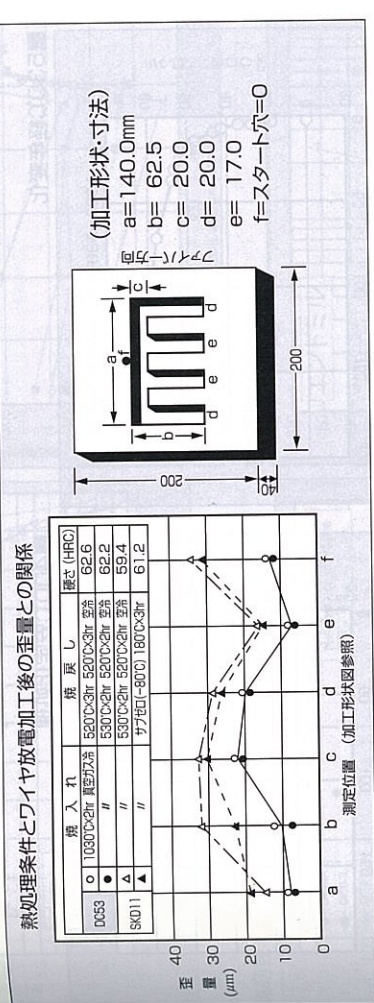
■ 微細均一なミクロ組織



■ 目的・用途に応じた熱処理サイクルの選定

用途・目的	焼入れ(°C)	焼戻し	目標硬さ(HRC)
一般的用途 (SKD11と同一の熱処理サイクル)		180~200	60~62
強度重視 (厚板・ヘッドリカバリ・疲労強度対策)		500~550	60~63
靱性重視 (割れ・折線・チャタリング)		520~550	62~63
熱処理変寸対策	1020~1040	200~350	59~62
放電加工・ワイヤ放電加工		350~510	59~62
トラブル対策		500~550	60~63
経年変化対策		500~550 +400	60~63
PVD処理の前熱処理		520~550	62~63

■ ワイヤ放電加工精度



■ 被切削性と被研削性

